

鶴ヶ曾根 安藤知晃  
つぎつぎと戦時の如き「法」成りて  
不気味なるかな夏の夜の夢

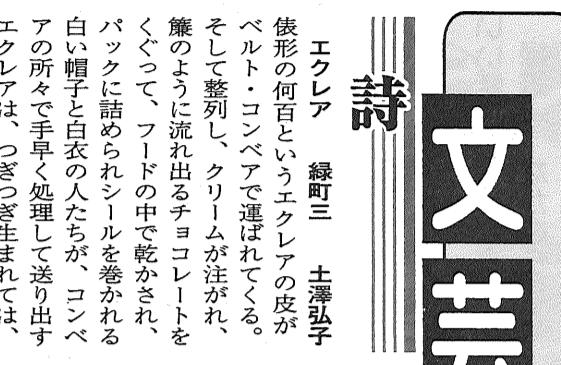


## 短歌

鶴ヶ曾根 安藤知晃  
つぎつぎと戦時の如き「法」成りて  
不気味なるかな夏の夜の夢

余所者と偏見ありしこの土地も  
住めば都と隅で生き延ぶ  
孫の可愛さ日々に深まり

片言の言葉ではなしあげてくる  
病む老犬をそっと寝せたき夏木立  
くください。  
(評) 詩も短歌も俳句も、説明でなく、五



## 文芸欄

### 吳美代選

皆さんの投稿をお待ちしています。市民の方ならどなたでも結構です。ぜひお寄せください。  
【応募先】〒340-8588八潮市中央一丁目  
八潮市役所広聴広報課広聴広報係

大字中馬場 明治二十二年(一八九〇)  
から現在に至る、南埼玉郡八幡村・  
八潮村・八潮町・八潮市の大字名。  
現在の八潮市中央・八潮の地名で、  
県道草加松戸線の北部は昭和五十七  
年に中央、南部が六十一年に八潮と  
地名変更、現在は、中井堀東側に残  
る大字地名。

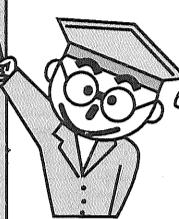
**小名・字名** 近世後期の文政三年  
(一八二〇) の地誌御糺役の調査によ  
る中馬場村の集落名は、「くのき通  
り、馬場方通り、浮塚通り、仕込通  
(東耕地・東) 慶長初年(一六〇六)  
ごろに八條用水が開削され、その後  
に付けられた用木東側に因む地名、  
中井堀と八條用水に挟まる区域

くのき通り 近世中馬場の集落地  
名で、集落地を通る下妻道・草加道  
沿いに櫟(くぬぎ)が植えられてい  
たことによる。クノキは、櫟の異名。  
(東耕地・東) 慶長初年(一六〇六)  
ごろに八條用水が開削され、その後  
に付けられた用木東側に因む地名、  
中井堀と八條用水に挟まる区域

西に当る東西一町十五間南北六町  
(新川向) 葛西用水西側の「村の  
水」が開削されてから地名。新川  
は、葛西用水の異名で、新しい川向  
こうに因む。葛西用水西側の「村の  
西に当る東西一町十五間南北六町」  
(同前) の区域であった。

## 中馬場の地名 その式

郷土の歴史 349



西用水が開削、葛西用水と八條用  
水に挟まれる、「村の中央東西五町  
南北三町」(同前) の区域であつた。  
(新川向) 葛西用水東沿いの大原  
水が開削されてから地名。新川  
は、葛西用水の異名で、新しい川向  
こうに因む。葛西用水西側の「村の  
西に当る東西一町十五間南北六町」  
(同前) の区域であつた。

(大原境) 葛西用水東沿いの大原  
に隣接することに因む地名。「村の  
南に当る東西三町南北三町」(同前)  
の区域であつた。

(馬場方通り・字馬場方) 地名は、  
八條用水の分水中井堀東側の馬場方  
の開発地に因む。現大字中馬場の字

地で、「村の東に当る東西四町南北  
二町」(同前) の区域である。

(浮塚通り・浮塚) 江戸時代から大正  
期ごろまでの地名で、御殿谷用水沿  
いの浮塚道沿いに因む地名で、「村  
の西に当る東西三町南北三町」(同

前) の区域で、中馬場村の新田  
開発権を買入れたことに因む地名で、  
「村の南に

馬場方通り・字馬場方 地名は、  
八條用水の分水中井堀東側の馬場方  
の開発地に因む。現大字中馬場の字

地で、「村の東に当る東西四町南北  
二町」(同前) の区域である。

(浮塚通り・浮塚) 江戸時代から大正  
期ごろまでの地名で、御殿谷用水沿  
いの浮塚道沿いに因む地名で、「村  
の西に当る東西三町南北三町」(同

前) の区域で、中馬場村の新田  
開発権を買入れたことに因む地名で、  
「村の南に

馬場方通り・字馬場方 地名は、  
八條用水の分水中井堀東側の馬場方  
の開発地に因む。現大字中馬場の字

地で、「村の東に当る東西四町南北  
二町」(同前) の区域である。

(浮塚通り・浮塚) 江戸時代から大正  
期ごろまでの地名で、御殿谷用水沿  
いの浮塚道沿いに因む地名で、「村  
の西に当る東西三町南北三町」(同

前) の区域で、中馬場村の新田  
開発権を買入れたことに因む地名で、  
「村の南に

馬場方通り・字馬場方 地名は、  
八條用水の分水中井堀東側の馬場方  
の開発地に因む。現大字中馬場の字

地で、「村の東に当る東西四町南北  
二町」(同前) の区域である。

(浮塚通り・浮塚) 江戸時代から大正  
期ごろまでの地名で、御殿谷用水沿  
いの浮塚道沿いに因む地名で、「村  
の西に当る東西三町南北三町」(同

前) の区域で、中馬場村の新田  
開発権を買入れたことに因む地名で、  
「村の南に

馬場方通り・字馬場方 地名は、  
八條用水の分水中井堀東側の馬場方  
の開発地に因む。現大字中馬場の字

地で、「村の東に当る東西四町南北  
二町」(同前) の区域である。

(浮塚通り・浮塚) 江戸時代から大正  
期ごろまでの地名で、御殿谷用水沿  
いの浮塚道沿いに因む地名で、「村  
の西に当る東西三町南北三町」(同

前) の区域で、中馬場村の新田  
開発権を買入れたことに因む地名で、  
「村の南に

馬場方通り・字馬場方 地名は、  
八條用水の分水中井堀東側の馬場方  
の開発地に因む。現大字中馬場の字

地で、「村の東に当る東西四町南北  
二町」(同前) の区域である。

(浮塚通り・浮塚) 江戸時代から大正  
期ごろまでの地名で、御殿谷用水沿  
いの浮塚道沿いに因む地名で、「村  
の西に当る東西三町南北三町」(同

前) の区域で、中馬場村の新田  
開発権を買入れたことに因む地名で、  
「村の南に

馬場方通り・字馬場方 地名は、  
八條用水の分水中井堀東側の馬場方  
の開発地に因む。現大字中馬場の字

地で、「村の東に当る東西四町南北  
二町」(同前) の区域である。

(浮塚通り・浮塚) 江戸時代から大正  
期ごろまでの地名で、御殿谷用水沿  
いの浮塚道沿いに因む地名で、「村  
の西に当る東西三町南北三町」(同

前) の区域で、中馬場村の新田  
開発権を買入れたことに因む地名で、  
「村の南に

馬場方通り・字馬場方 地名は、  
八條用水の分水中井堀東側の馬場方  
の開発地に因む。現大字中馬場の字

地で、「村の東に当る東西四町南北  
二町」(同前) の区域である。

(浮塚通り・浮塚) 江戸時代から大正  
期ごろまでの地名で、御殿谷用水沿  
いの浮塚道沿いに因む地名で、「村  
の西に当る東西三町南北三町」(同

前) の区域で、中馬場村の新田  
開発権を買入れたことに因む地名で、  
「村の南に

馬場方通り・字馬場方 地名は、  
八條用水の分水中井堀東側の馬場方  
の開発地に因む。現大字中馬場の字

地で、「村の東に当る東西四町南北  
二町」(同前) の区域である。

(浮塚通り・浮塚) 江戸時代から大正  
期ごろまでの地名で、御殿谷用水沿  
いの浮塚道沿いに因む地名で、「村  
の西に当る東西三町南北三町」(同

前) の区域で、中馬場村の新田  
開発権を買入れたことに因む地名で、  
「村の南に

馬場方通り・字馬場方 地名は、  
八條用水の分水中井堀東側の馬場方  
の開発地に因む。現大字中馬場の字

地で、「村の東に当る東西四町南北  
二町」(同前) の区域である。

(浮塚通り・浮塚) 江戸時代から大正  
期ごろまでの地名で、御殿谷用水沿  
いの浮塚道沿いに因む地名で、「村  
の西に当る東西三町南北三町」(同

前) の区域で、中馬場村の新田  
開発権を買入れたことに因む地名で、  
「村の南に

馬場方通り・字馬場方 地名は、  
八條用水の分水中井堀東側の馬場方  
の開発地に因む。現大字中馬場の字

地で、「村の東に当る東西四町南北  
二町」(同前) の区域である。

(浮塚通り・浮塚) 江戸時代から大正  
期ごろまでの地名で、御殿谷用水沿  
いの浮塚道沿いに因む地名で、「村  
の西に当る東西三町南北三町」(同

前) の区域で、中馬場村の新田  
開発権を買入れたことに因む地名で、  
「村の南に

馬場方通り・字馬場方 地名は、  
八條用水の分水中井堀東側の馬場方  
の開発地に因む。現大字中馬場の字

地で、「村の東に当る東西四町南北  
二町」(同前) の区域である。

(浮塚通り・浮塚) 江戸時代から大正  
期ごろまでの地名で、御殿谷用水沿  
いの浮塚道沿いに因む地名で、「村  
の西に当る東西三町南北三町」(同

前) の区域で、中馬場村の新田  
開発権を買入れたことに因む地名で、  
「村の南に

馬場方通り・字馬場方 地名は、  
八條用水の分水中井堀東側の馬場方  
の開発地に因む。現大字中馬場の字

地で、「村の東に当る東西四町南北  
二町」(同前) の区域である。

(浮塚通り・浮塚) 江戸時代から大正  
期ごろまでの地名で、御殿谷用水沿  
いの浮塚道沿いに因む地名で、「村  
の西に当る東西三町南北三町」(同

前) の区域で、中馬場村の新田  
開発権を買入れたことに因む地名で、  
「村の南に

馬場方通り・字馬場方 地名は、  
八條用水の分水中井堀東側の馬場方  
の開発地に因む。現大字中馬場の字

地で、「村の東に当る東西四町南北  
二町」(同前) の区域である。

(浮塚通り・浮塚) 江戸時代から大正  
期ごろまでの地名で、御殿谷用水沿  
いの浮塚道沿いに因む地名で、「村  
の西に当る東西三町南北三町」(同

前) の区域で、中馬場村の新田  
開発権を買入れたことに因む地名で、  
「村の南に

馬場方通り・字馬場方 地名は、  
八條用水の分水中井堀東側の馬場方  
の開発地に因む。現大字中馬場の字

地で、「村の東に当る東西四町南北  
二町」(同前) の区域である。

(浮塚通り・浮塚) 江戸時代から大正  
期ごろまでの地名で、御殿谷用水沿  
いの浮塚道沿いに因む地名で、「村  
の西に当る東西三町南北三町」(同

前) の区域で、中馬場村の新田  
開発権を買入れたことに因む地名で、  
「村の南に

馬場方通り・字馬場方 地名は、  
八條用水の分水中井堀東側の馬場方  
の開発地に因む。現大字中馬場の字

地で、「村の東に当る東西四町南北  
二町」(同前) の区域である。

(浮塚通り・浮塚) 江戸時代から大正  
期ごろまでの地名で、御殿谷用水沿  
いの浮塚道沿いに因む地名で、「村  
の西に当る東西三町南北三町」(同

前) の区域で、中馬場村の新田  
開発権を買入れたことに因む地名で、  
「村の南に

馬場方通り・字馬場方 地名は、  
八條用水の分水中井堀東側の馬場方  
の開発地に因む。現大字中馬場の字

地で、「村の東に当る東西四町南北  
二町」(同前) の区域である。

(浮塚通り・浮塚) 江戸時代から大正  
期ごろまでの地名で、御殿谷用水沿  
いの浮塚道沿いに因む地名で、「村  
の西に当る東西三町南北三町」(同

前) の区域で、中馬場村の新田  
開発権を買入れたことに因む地名で、  
「村の南に

馬場方通り・字馬場方 地名は、  
八條用水の分水中井堀東側の馬場方  
の開発地に因む。現大字中馬場の字

地で、「村の東に当る東西四町南北  
二町」(同前) の区域である。

(浮塚通り・浮塚) 江戸時代から大正  
期ごろまでの地名で、御殿谷用水沿  
いの浮塚道沿いに因む地名で、「村  
の西に当る東西三町南北三町」(同

前) の区域で、中馬場村の新田  
開発権を買入れたことに因む地名で、  
「村の南に

馬場方通り・字馬場方 地名は、  
八條用水の分水中井堀東側の馬場方  
の開発地に因む。現大字中馬場の字

地で、「村の東に当る東西四町南北  
二町